

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和2年(2020年)12月7日(月)

「ものづくり」評価され自信に 大学生 辻本真夕 21

今年はコロナ禍で生活が一変した。実家にいたが、大学に通学できず、就職活動のため、バイトに行かず、家で勉強する日々だった。

このままではストレスがたまり、落ち込んでしまうと思った。そこで幼い頃からの趣味である「ものづくり」を行うようになった。マスクを作り、ポーチも作成し、いろんなお菓子を作っていた。

この秋には栗をたくさんもらった。母と2人で2、3日かけ

て皮をむき、渋皮煮にした。そして、その渋皮煮を使って、ロールケーキを作り、周囲の人々に配った。

するとみんなから「おいしかった!」「就職せんと店開いたら!」「また作って!」と言ってもらった。

褒めてもらったことで、自分に少しでも自信を持てたような気がする。残りの大学生活もあと少し。何事も頑張れるような、前向きな気持ちとなった。

(津市)